

慶応元年九月六日より慶応元年九月七日まで

P8311312 right

面す、達三兩人出行、作濱遊歩す、寄内、帰期願得及春分正遇錦都
花気薫寄語教奴守園改養楳培柳要殷勤、有感、壮年亡母幼
亡父弟妹四人、皆帰(黄)土孝事於誰友於誰幾行流涕潜如雨
六日辰 風雲午下雨断続

楽作源濱運□遊歩、晚晴即目、晚霓(虹)千丈劃江邊藍色秋空浄如研

□屋萬林天造幕丹黄繡出夕陽前、有感、純臣何必問究通誰竭

真心報国忠俗土行蔵無着落不如海面信天翁*^(一)(信天翁鳥名、海上常浮待魚、入喙遂飢死、俗云
愚鳥)

七日巳 雨断続

(御用状)御用状、宅状等籠書差立る、達作源出行、茶より橋本(釜)(伝書)御用一行の人)器械
御買上げ

P8311312 left

(簿)より橋本(釜)来る我公事非ず)御用の義に付本夕当村着の由に付濱五郎府外迄出迎として

出張(定御雇し馬車拝借)いたし度旨申聞る

承り届る、去る四日へラルト方へ遣し候書翰二通返書さし越す、前書達分兩人とも出行

見合を達源ともに濱と同行いたし度旨申出る、去月廿七日より(西洋十月十六日)当三日迄(同十月

廿二日)七ケ日分

経費千三百四拾三フランク六拾五サンチーム(*⁽²⁾)、内上七人食料(日数本文の七ケ日分)五百七拾

四フ場代

(日数同断)式拾八フ、ハン(日数同断)拾三フ三拾サン、茶加□霜糖、油蠟燭作濱等(日数同断の内)
百式

拾五フ九拾五サン、牛乳(日数同断)拾四フ三拾五サン、葡萄酒七拾五ブランデー四つ百七拾四フ、
石炭薪百拾式フ、式拾五サン、下食料(七人)当四日より(西洋十月廿三日)四日迄(同十月廿九日)
百七拾壹フ五

拾サン、其外チース菓核書状使小買物類、外式千四百八拾八フランク内五拾七フ積

料品是は去月廿八日の落(件)七拾五フ去月廿七日より当三日迄、□料品代、七百三拾六フ

(定雇、西洋九月十九日より同十月十八日迄分に雇車式度

*1:信天翁(アホウドリ)

*2:サンチームはフランス通貨で、100 サンチームで1フラン

(内は細字双行(一行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れあり、虫食いにより文字が無い等です。